

# 雅子さま女子ご出産

## きょう午後2時43分

皇太子妃雅子さま(37)は一日午後二時四十三分、皇居・宮内庁病院で女の子を出産された。結婚八年半で誕生した皇太子ご夫妻の第一子で、皇室にとつて一

九九四年に生まれた秋篠宮ご夫妻の二女佳子さまに続く七年ぶりの慶事となった。天皇、皇后両陛下にとつては三人目の孫になり、直ちに両

陛下や小泉純一郎首相らに報告された。名前は陛下が決め、誕生七日目の命名の儀を経て、称号(幼少時の宮称)とともに公表される。女の子誕生で皇室

の懸案の跡継ぎ問題の解決は先送りされた形となり、あらためて皇位継承を男子皇族に限定している皇室典範の改正論議が浮上しそうだ。陛下が使

者を通じて守り刀を授ける賜剣(しけん)など、健やかな成長を祈願する皇室伝統の儀式が続く。雅子さまと子ども健康は、東宮職御用掛を務める堤治東大教授(産婦人科)ら医療スタッフが見守る。経過が順調ならば、二人は二週間程度で退院できる見通し、という。



スウェーデンのピクトリア皇太子ご夫妻「10月16日、東京・元赤坂の東宮御所

雅子さまは出産の兆候が出て、住まいの東宮御所から宮内庁病院に移り、入院していた。宮内庁が今年四月十六日、懐妊の可能性を発表して以来、雅子さまは地方訪問など肉体的に負担の重い公務を休み、東宮御所で静かに生活されていた。この間の経過は終始順調で、十月二十一日には、妊娠九カ月の安産を願う皇室の行事「着帯の儀」が行われた。